

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2017/6/16
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 シンク・エンジニアリング株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1978年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 38年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須
	事業所数(国内、国外)		9ヶ所(国内)	
	主な事業所の所在地		東京、岩手県、長野県、静岡県、京都府、兵庫県、大分県	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 上下水道の監視・管理のためのシステムおよび設備の設計、製造、設置、運用
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 代表取締役社長 岡村 勝也
			代表者写真	選択 記述無し(*)
			代表者年齢	選択 記述無し(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述無し(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述無し(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 1,705,547,846円(2016年5月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥70,000,000円(2016年5月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容		
- 資本関係・取引関係						
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述無し(*)	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)	
- コンプライアンス						
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)	
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	ISMS基本方針、ISMSマニュアル、適用宣言書、リスクアセスメント手順書、情報設備管理手順書、社内システム開発手順書、情報セキュリティルールブック等。	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		ISO最高責任者による承認あり。	
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択	記述有り(*)	
		上記の書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	苦情対応規定		
		上記の書類の経営陣による承認の有無		ISO最高責任者による承認あり。		
- サービス基本特性						
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	T-Log for Web	
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)		必須	2012/4/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)			有り:2016/11/01
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス	
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	上下水道施設の水の流れや、各種機器の状況・取得情報等を、絵図・グラフで視覚的に監視。 簡水などの小規模～企業団などの大規模まで、柔軟に対応。 スマートフォン/タブレットで、パソコンの監視画面と同じ表示が可能。 ノートパソコン不要で、現場でもスマートフォン1つでOK。		
	他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>	無し				
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	個別相談に応じて決める。		

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
32	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	変更:約1ヶ月前 終了:約3ヶ月前	
		告知方法		文書、電話連絡、訪問連絡	
		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	有り:オンプレミス型に変更
				基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略	有り:オンプレミス型で客先に同等システムを構築
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	必須○	有り:各担当営業、本社(月～金9:00～17:30) 会社HP お問い合わせページ		
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無し	
		固定部分の課金方法		・月額システム利用料(3ID込):¥20,000～30,000/月 ・月額データ通信費:施設よりデータセンターへデータを転送する通信費 ¥2,000～6,500/1台(月)	
36	料金体系	初期費用額	必須	監視対象施設の整備状況/内容により変動	
		月額利用額		月額システム利用料+(月額データ通信費×端末台数)	
		最低利用契約期間		1年間	
37	解約時ペナルティ	必須	有り:最短利用期間内に解約を行う場合は、解約日以降最短利用期間満了日までの残余の期間に対応する利用料金に相当する額及びその消費税相当額を一括して支払うものとします。		
38	利用者からの解約事前受付期限	必須	基本1ヶ月前		
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	2016/6/1～2017/5/31までの実績ベース 実績値 99.89%	
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン4:99.5%以上	
		サービス停止の事故歴		2016年6月28日 9:40 ～ 14:40 頃 ネットワーク機器エラー 2017年3月8日 13:50 ～ 17:50 頃 ネットワーク機器エラー	
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)	
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)	
42	サービス品質	認証取得・監査実施	選択	記述有り(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
43		個人情報の取扱い	必須	本サービスの遂行目的でのみ使用し、第三者に開示又は漏洩しないものとする。関係法令を遵守するものとする。	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述無し(*)
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述無し(*)
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	毎日
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	3世代
46		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48		SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	無し
49	サービス利用量	利用者数	選択	記述有り(*)	
50		代理店数	選択	記述有り(*)	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	データ処理システムT-Log for Web	
			必須	主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	シンク・エンジニアリング株式会社	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称 記述有り(*)	
				標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否 記述有り(*)	
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	データベース: 10秒 Web: 10秒 サーバ・通信機器: 10分	
				障害時の利用者への通知時間 1時間以内	
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り	
56	時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP	
57	ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り パターンファイル更新間隔: 24h	
58	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ: 利用状況、処理、通信、データの各異常についてあり。 保存期間: 利用状況は3日、他は1年以上	
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	24時間	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	データセンターへのユーザ接続回線については、責任は負わない。
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り 有線: ADSL以上 モバイル: 3G以上	
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	推奨ブラウザが稼働するOS(Windows, Mac, iOS, Android)	
		利用するブラウザの種類	必須	IE9以上(Edgeも可) Chrome40以降 Safari7以降	
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述有り(*)
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID、パスワードによる認証
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り サーバ認証を取得しSSLで使用
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須	日本: 関東
73		耐震・免震構造	耐震数値	耐震数値 免震構造や制震構造の有無	必須
	有り: 制震構造				
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	有り: 10分
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	有り: 2回線受電方式
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	有り: 48時間
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	有り: ガス系消火設備か否かは非開示
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	有り
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	有り
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	記述有り(*)
82	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	入退室記録の有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間	必須	有り: 保存期間は非開示
		有り 稼働時間: 24時間 監視範囲: 入退室口、サーバ室他 映像の保存期間: 非開示			
83	セキュリティ	個人認証システムの有無			有り
		媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
84	その他セキュリティ対策	保管管理手順書の有無			有り
		その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)		選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0214-1706, サービス名称: T-Log for Web, 事業者名称: シンク・エンジニアリング株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	本社: TEL03-3724-7201/FAX03-3724-7203 Web: http://www.think-tech.co.jp/
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		・NTTコミュニケーションズ株式会社 http://www.ntt.com/business/spc/list/detail_logger.html?_ga=1.252892041.1231708794.1489120526
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	営業時間: 月～金 9:00～17:30
		メンテナンス実施時間		営業時間外に実施
87	サービス窓口(苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)
				放棄率の実績値(単位: %)
				応答時間遵守率の実績値(単位: %)
				基準時間完了率の実績値(単位: %)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・使用/操作に関する事項全般 ・不具合、トラブル等
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		・電話、訪問
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	・ハードの冗長化、電源の冗長化、負荷分散、稼働監視
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り:水道施設遠隔監視クラウドサービス利用規約と利用申込書
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期(1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前
		告知方法		・電話、訪問。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無(アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。